

KITANO **きたのみどり** MIDORI

北海道立林業試験場 緑化樹センター

No.
4

緑化に関する現地植栽協議 —平成12年度—

緑化樹センターでは、環境生活部みどり対策室と連携し、緑化工事に伴う樹木の植栽等の技術的な課題に関して、発注機関の工事担当者との現地協議を行っています。

平成12年度は、みどり対策室に寄せられた協議事項が19件、緑化樹センターに直接寄せられたものが1件、合計20件について植栽協議を行いました。

その内訳は、実施主体が北海道のものが14件、市町村のものが6件となっており、また北海道が行う施工事業における各部の件数は、建設部が9件、農政部が4件、水産林務部1件となっています。

協議内容では、樹種の選定や植栽上の留意点についてが9件、植栽木の維持管理がサクラ類など3件を含め7件、支障木の移植や保全等が4件となっております。また、以前植栽協議を行った場所で、植栽後の維持管理等について再度協議をしたところが4カ所ありました。このうちの2箇所の事例を2～3頁に示します。

当センターでは、よりよいみどり環境づくりのために、13年度も引き続き現地での植栽協議を行う予定です。



植栽木の生育状況調査



現地担当者との協議状況

コンクリート面をツルで覆う — 網走市 —

「急斜面の崩壊を防止するために全面をコンクリートで覆う予定ですが、これを緑化しようとしたら、どうしたらいいでしょうか？」このような相談を受けたのは、平成9年のことです。当時の協議では、全面を緑で覆うためにはツル性植物を用いるのが良いこと、ツルが伸びるには時間がかかるので、早期に緑化するにはプランター状のコンクリートボックスを設置し、その中にも植栽することなどを提案し、植栽が行われました。しかし、雪が少なく冷え込みの厳しい網走市の環境条件や、工期の関係で植栽が秋になったこと、一部にキツタなど不適當な樹種が使われたことなどから、結果的には枯損してしまいました。

そこで、今年度新たに協議を行い、前回の植栽における問題点とそれに対する改善策を話し合いました。その結果、以下のような改善策を施して植栽を行うこととしました。

- ・ 春の芽吹き前の時期に植栽する。
- ・ 網走の環境に適應できるナツツタなど（写真）の樹種を選択する。
- ・ ボックスへの植栽だけでなく、裾部にも土盛りして低木やツル植物を植栽する。
- ・ ツルの生育を促すために、コンクリート面上に金網を設置する。
- ・ ボックスの底部に水抜き穴をあける。



コンクリートで覆われた急斜面

これらの改善点を元に、平成12年4月に植栽が行われました。植栽後2ヶ月経過した6月に施工地を視察したところ、植栽木の活着は良好で、今後の成長が期待されます。ただし、まだ冬期間を経過していないので、ボックス内の土壌凍結など、越冬に関する懸念は残っています。今後も経過を注意深く見守っていく予定です。



ボックス内のナワシロイチゴとツタ（H. 12年6月）

植栽木の枯損原因は？ —新篠津村—

「せっかく植えた苗木が枯れてしまった。」そんな相談も多く寄せられます。

この新篠津村の事例は、緑豊かな公園的道路を、温泉施設やゴルフ場を中心とした整備計画と連携して造成することが目的です。湿地上に道路と緑地帯を造成するために、基盤整備として盛り土を行い、側方には排水溝が設けられ、さらに植栽列には列状の客土が行われていました。この現地にトドマツとアカエゾマツを植栽したところ、植栽木が枯損してしまっただのです。一見しっかりとした植栽基盤が作られているようですが、なぜ枯損が発生してしまったのでしょうか？

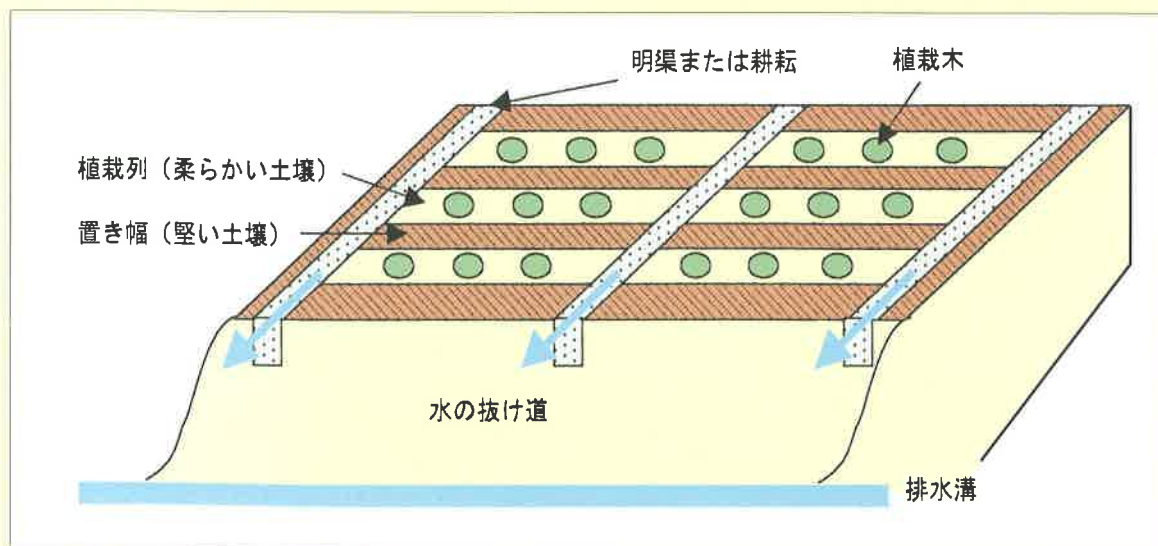
植栽地の土壌を掘ってみると、植栽列には、柔らかく有機分に富んだ土壌が客土されていましたが、水が溜まっていた。一方、列間の置き幅の土は、非常に固く透水性の悪い土壌でした。つまり、周囲が固い土壌で囲まれているため、植栽列が良い土でも、水の抜け道がないために水が溜まっていたのです。

このような場所では、排水性さえ確保すれば枯損はなくなります。ここでは植栽列に直角方向に列状に明渠を掘るか土壌を耕耘することにより、堅い土壌層を破壊して水の抜け道を作ることとしました。

このように、客土を行う場合には、周囲の土壌の透水性についても考慮する必要があります。



枯損した植栽木



現地の模式図

過去27年間の道内の緑化樹の需要動向

緑化事業の円滑な推進を図ることを目的として、道では昭和48年から緑化樹の生産量などについて調べており、20年間以上のデータが蓄積されています。こうした緑化樹の統計を、様々な角度から分析することは、今後の緑化樹の需要動向を予測する上で極めて重要なことです。今回は、「北海道の緑化樹木生産状況」を用い、道内の緑化樹の需要量の経年変化、樹種ごとの特徴などについて紹介したいと思います。

大きく変動する緑化樹の需要量

図-1に、過去27年間の北海道の緑化樹の払い出し量、および公共事業における使用量の経年変化について示しました。なお、公共事業における使用量は実際に事業に使用した本数ですが、払い出し量には実際の消費量のほかに生産業者間の苗木の取引も含まれております。

緑化樹全体の払い出し量の変化をみると、2つの山と1つの谷があり、谷の部分の払い出し量はピーク時の3分の1から4分の1にしかありません。このように北海道の緑化樹の需

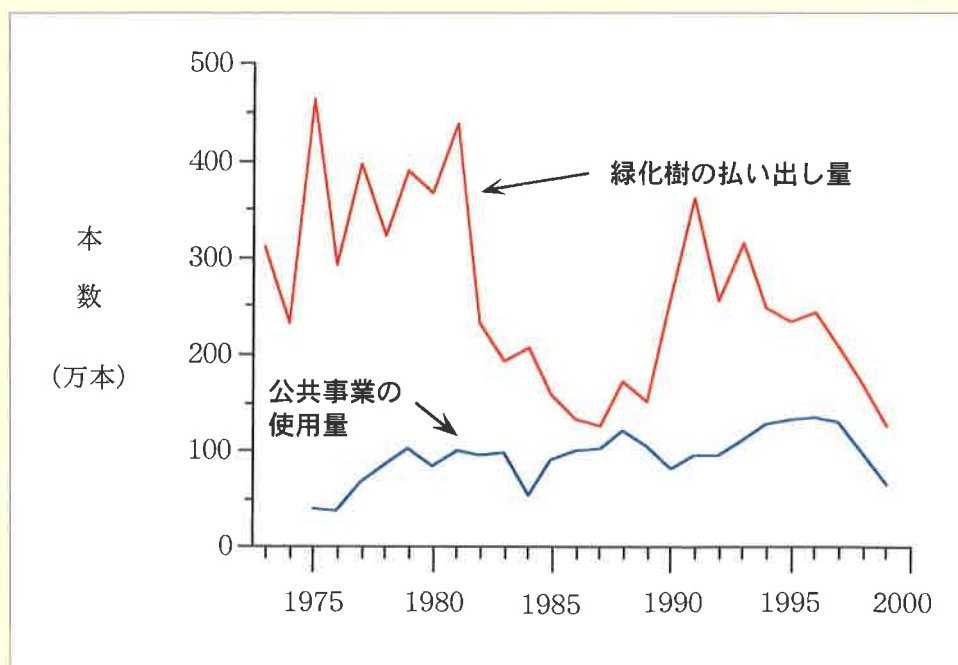


図-1 道内の緑化樹の払い出し量と公共事業における使用量

要量は10年から15年の周期でダイナミックに変化しています。全体の払い出し量の変動に対し、公共事業での使用量は比較的安定していることがわかります。これらのことから需要量の変動は、公共事業以外の変動に起因していると考えられます。

樹種によって違う経年変化のパターン

図-2に、経年変化のパターンが特徴的なニオイヒバ、イチイ、ナナカマドの3種について示しました。ニオイヒバの払い出し量の経年変化は、図-1の緑化樹全体の变化とほぼ同調し増減しています。これに対し、イチイは全体の需要量が1回目のピークを向かえた1970年後半には、払い出し量で60万本を超え第1位を記録しましたが、その後減少傾向が続いています。一方、ナナカマドは、イチイとは逆のパターンを示します。

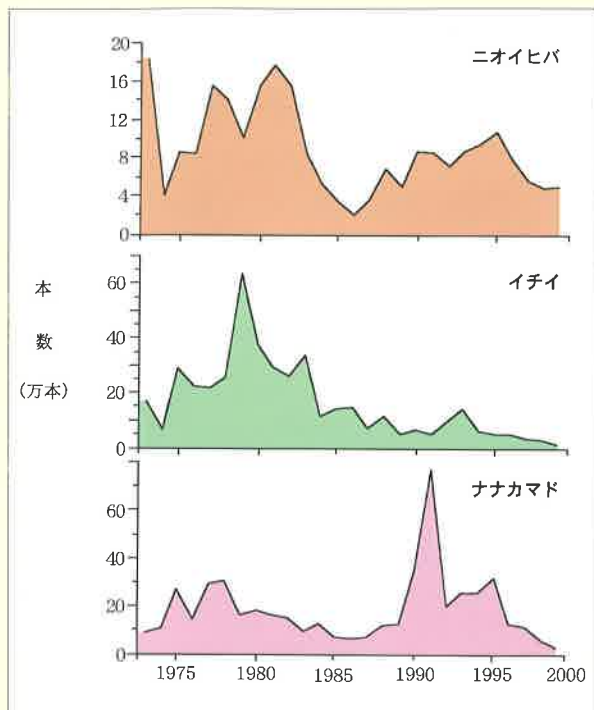


図-2 道内のニオイヒバ、イチイ、ナナカマドの払い出し量

表-1 緑化樹の払い出し量の経年変化パターンの類型化

安定型	飽和型	成長型	その他
アカエゾマツ	イボタノキ	イヌエンジュ	ウツギ類
ニセアカシア類	イチイ	エゾノコリンゴ	カラマツ
アカマツ類	クロマツ類	オオバボダイジュ	ドウダンツツジ
イチヨウ	ゴヨウマツ類	カエデ類	トウヒ類
エゾムラサキツツジ	シヤクナゲ類	カツラ	トドマツ
キタコブシ	ネグンドカエデ	ギンドロ	ハクウンボク
シラカンバ	ハイマツ	サクラ類	ハシドイ
ドロノキ	バンクスマツ	トチノキ	ポプラ類
ナラ類	モンタナマツ	ナナカマド	
ニオイヒバ	ヤチダモ	ハマナス	
ハンノキ類		ハルニレ	
プラタナス		ビャクシン類	
メギ		ヤマツツジ	
ヤナギ類		レンギョウ類	
ライラック			

注1：青字は針葉樹を示す。

注2：類内の種名および品種名については「北海道の緑化樹木生産状況」による。ただし、ヒバ類はニオイヒバにモミジ類はカエデ類に、シンバクはビャクシン類に加えた。

ここで示した3つのパターンは、他の樹種でも見られ、ニオイヒバに似ているものを「安定型」、イチイに似ているものを「飽和型」、ナナカマドに似ているものを「成長型」、それ以外を「その他」の4つに分類しました(表-1)。全体としては飽和型には針葉樹が、成長型には広葉樹が多い傾向があるようです。このように、道民の緑化樹に対する嗜好は明らかに変化しています。

こうした傾向から判断すると、イチイなど「飽和型」の樹種は、今後全体の需要が回復しても、そう多くの消費量の増加は望めないかもしれません。こうした予測をするには、過去の統計の分析だけでは不十分です。そのためには、緑化樹の利用形態や好み、過去と現在でどのように変化しているのかなどの調査も実施していくことが重要です。

読者の声

植物の名前から思う

北海道緑生会 運営委員 志 鎌 純 一

植物は、和名、俗称、学名、英名などさまざまな名前をもっています。北海道になじみのふかい「イチイ」は「オンコ」の俗称で親しまれていますし、また「ライラック」は英名で、和名は「ムラサキハシドイ」、仏名は「リラ」と、おなじ植物の呼び方がたくさんあります。

近年、外来種の需要とともに学名を使用する機会が多くなってきました。通常学名は「属名—種小名—園芸品種名」でといった形で使用され、全世界で通用する、特徴や性質をもりこんだ便利な名前です。

ところが、学名で使われてもその品種名だけで呼ばれてしまう場面がでてきました。例えば「グロボーサ」という園芸品種名は「球状の」という性質をあらわした名称ですが、この名前をもつ植物はたくさんあり、それだけではどの植物のことを言っているのか判断できません。例えば「プンゲストウヒ・グロボーサ」のように種名と品種名がそろってはじめて、理解できるようになります。

名前のお話ではありませんが、もう一歩ふみ込んで互いに共通の認識を持ち、より良い北海道の環境、緑づくりが出来るよう、会員一同微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。

「緑化樹現地講習会」が開催されました

昨年10月12日、留萌支庁との共催で「みどりの環境づくり講演会」を兼ねて「緑化樹現地講習会」が苫前町において開催されました。

当日は、留萌支庁管内の民間、市町村、道、国の関係機関の緑化関係担当者等107名が参加し、緑化樹センターの清水管理技術科長が「塩風害の発生事例・発生メカニズムや防風柵による軽減、塩風に強い緑化樹など」および「木材チップの敷設による雑草抑制効果」の二つについて講演を行いました。



講演会のようす

緑化相談等の経過（8月～12月 関係分のみ記載）

1 現地技術指導

期 間	事 業 ・ 指 導 名	場 所	対 象 者	派遣職員
8月24日	上ノ国ダム建設事業	上ノ国町	道建設部河川課・公園下水道課・函館土木現業所	清水管理技術科長 山田研究主任
25日	道南圏道立広域公園造成事業	函館市	〃	〃
9月20日	中山間地域総合整備事業（江丹別地区）	旭川市	上川支庁農業振興部耕地課・旭川市職員	佐藤主任研究員 八坂生産技術科長
21日	中山間地域総合整備事業（中愛別地区）	愛別町	上川支庁農業振興部耕地課・愛別町職員	〃
10月13日	暑寒別川砂防用河畔林造成指導	増毛町	留萌土木現業所	清水管理技術科長 山田研究主任
10月16日	街路事業（弥生新道）	帯広市	道建設部都市環境課・帯広土木現業所	佐藤主任研究員 脇田研究職員
10月23日	カリンパニほべつ事業	穂別町	穂別町職員ほか	〃
24日	桜並木づくり事業	〃	〃	〃
〃	緑化維持管理事業	登別市	登別市職員ほか	〃
〃	水車・アヤマ川自然公園事業	伊達市	伊達市職員ほか	〃
25日	海岸環境整備事業	豊浦町	胆振支庁農務課職員ほか	〃
	11件			

2 講師派遣

期 間	研 修 名	対象者	受講者	場 所	派遣職員
9月5日	北海道緑化樹生産対策協議会	緑化樹生産者・森林組合・市町村職員など	90	美唄市	錦織研究職員
26日～ 27日	森林とみどりの担い手養成セミナー「緑化技術基礎講座」	林業技術者・緑化関係者ほか	4	新得町	佐藤主任研究員 山田研究主任 錦織研究職員
10月12日	緑化樹現地講習会 （みどりの環境づくり講演会）	留萌支庁管内の民間・市町村・道・国の機関の緑化樹担当者	107	苫前町	清水管理技術科長
〃	緑の探検隊「樹木講習会」	旭川市職員ほか	10	旭川市	佐藤主任研究員
24日～ 25日	森林とみどりの担い手養成セミナー「緑化技術応用講座」	林業技術者・緑化関係者ほか	7	美唄市	清水管理技術科長
27日	みどりの環境づくり技術者講習会	根室支庁管内の道・市町村の緑化樹担当者	29	別海町	佐藤主任研究員
	6件		247人		

3 海外派遣

期 間	事 業 名	派 遣 地 域 名	派遣職員
9月10日～ 24日	林業技術国際交流事業	中国東北三省（黒龍江省、吉林省、遼寧省）	清水管理技術科長
10月21日～ 11月18日	「JICA、林木育種計画フェーズ2」	インドネシア共和国ジョグジャカルタ市 農業林業省研究開発庁	錦織研究職員
	2件		

4 緑化相談

8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
16 件	8 件	17 件	18 件	10 件	69 件

緑化技術基礎講座・応用講座開催のご案内

北海道立林業試験場では、林業や身近な緑の環境づくりなどに携わる担い手を養成するため、平成13年度に「森林とみどりの担い手養成セミナー」を開催します。緑化樹センターではこのセミナーの中で、下記の講座を開催します。

講座名	主な内容	開催場所	開催月日
緑化技術基礎講座	緑化樹の増殖と維持管理など基礎的な緑化技術	本場	7月12～13日
		道南支場	5月9～10日
		道東支場	8月28～29日
		道北支場	6月26～27日
緑化技術応用講座	(Ⅰ) 緑化樹の維持管理技術	本場	7月18～19日
	(Ⅱ) 緑化樹の組織培養技術	本場	2月19～21日

詳しい講座内容を知りたい方、又は受講を希望される方は、下記の連絡先にお気軽にお問い合わせください。



グリーンダイヤルは
あなたのダイヤルです。



「緑化樹」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。

連絡先

緑化樹センター（林業試験場） TEL 01266-3-4164 FAX 01266-3-4166
林業試験場 道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
林業試験場 道東支場 TEL 01566-4-5434 FAX 01566-4-5434
林業試験場 道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.hfri.bibai.hokkaido.jp/>

試される大地
北海道

発行年月 平成13年2月
編集・発行 北海道立林業試験場 緑化樹センター
〒079-0198
北海道美唄市光珠内町東山